



議会だより

いせん

第86号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3150

編集 議会広報編集委員会

印刷 ㈱奄美新社印刷

第66回奄美群島市町村議会議員大会

(令和7年5月20日)

令和7年第2回定例会

議案審議結果……………	2 P
一般質問……………	3～8 P
子ども議会……………	9 P
議員大会ご報告……………	10～11 P
議長のご挨拶・編集後記……………	12 P



令和7年第2回定例会(6月10日~13日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)													議決結果	
		井上和代	久保量	大河善市	杉山肇	牧本和英	佐田元	清平二	岡林剛也	上木千恵造	永田誠	福留達也	樺山一	美島盛秀		前徹志
同1	伊仙町教育委員の任命について	投票による表決(投票総数13票 賛成7票 反対4票 無効票2票)													一	同意
議29	令和6年度繰 伊仙町役場新庁舎新築工事(2期本体工事)請負契約の締結	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	一	否決
議30	伊仙町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議31	伊仙町子ども・子育て支援会議条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議32	伊仙町税条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議33	伊仙町国民保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	一	原案可決
議34	伊仙町立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議35	伊仙町辺地総合整備計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	一	原案可決
議36	令和7年度伊仙町一般会計補正予算(第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議37	令和7年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議38	令和7年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議39	令和7年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
請1	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	採択
請2	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	採択
発2	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げに係る意見書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
発3	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決

【表の見方】 承:承認 同:同意 議:議案 請:請願 発:発議 ◎:全会一致 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 一:表決権なし

令和7年 第2回定例会

一般質問



大河 善市 議員

今後の町政運営について

問 町民主体のまちづくりと派閥解消へオール伊仙での取組についてを問う。

答 (町長) 町民の声が町政にきちんと届く事が大事と、思っている。町民の声にきちんと耳を傾ける姿勢、町の色々な情報等について公開できるところは公開し地域からの声も積極的に聞く環境を整えていく事が大事と考えている。

派閥という言葉だけで片付けてしまうと少し難しいが、現教育長人事において、反対討論や反対意見が全くない中で否決されたこ

とがあつたが、私の考えの中では、きちんと否決理由を町民に示して否決する形が理想だと思つている。また、堆肥センターのペレット化に関する予算が、時期尚早を理由に否決されたが本当に時期尚早だったのか。ペレット化については多くの農家が待ち望んでいたのではないかと思つている。

議会の在り方、私たちが町民の信託を受けてこの場にいるということは町民の幸せのために何が大事なのか価値観をより深く熟議して、時間をかけてでも解決できるような取組んでいきたい。

問 大久保前町長が進めた小規模校存続及び住宅建設について伊田町長の考えを問う。

答 (町長) 小規模校は中規模校に比べ身近に先生が寄り

添つていて、学力が高い傾向にある。また、学校があることで地域での人と人との関わりが保たれ子どもたちの将来に活かされることから地域に学校があることは大事だと考える。今後、住宅建設や空き家対策事業等を活用し工夫改善を図りながら小規模校存続に取組んでいきたい。

問 農業振興について、農家の経営安定所得向上を図るための支援策について問う。

答 (町長) 国や県の中でどのような助成事業予算があるかを積極的に職員が調べ、農家の方々に示すことが大事だと思つている。また、子や孫の代になつても作物が作れる大地にするためにも化学肥料だけでなく、有機肥料を畑に与え微生物を育てる環境こそが夢ある農業と考えている。

(経済課長) 現在の取組みとして、有機JAS認定について、人数を集め団体として申請をすることで、一人30万円を

1万円にすることが出来る活動を行っている。また、令和9年度から11年度にかけ堆肥センター改修及び堆肥ペレット化の設備等の導入を計画している。

問 高齢者等に対して、町独自の支援策及びサポート体制について問う。また、シェアカー(電動車いす)の購入助成について問う。

答 (未来創生課長) 公共ライドシェアという新しいサービスの導入を検討しており、運行形態や、運行エリア・運行体制の構・実証運行の実施を行うことを予定している。

(地域福祉課長) シニアカーの購入助成については、いろんな情報を収集して運動量が減らないか、介護予防・介護にならないように予防していく事業も検討しながら推進していきたい。

要望 令和7年度から開始される地域共生型公

共ライドシェア導入実証事業については、交通機関の少ない伊仙町にとっては、非常に良い事業だと思つている。運転免許証返納者及び高齢者や子ども達のためにも、今後、実証運行等を行い交付金を活用して町民のためになることをすすめていくよう要望する。

※公共ライドシェア(自家用有償旅客運送)・・・伊仙町では、高齢者や子育て世帯をはじめ、すべての町民の移動手段を確保するため、電話予約制で町内を運行するサービスの導入実証運行に向けた準備を進めています。





議員 清 平二

派閥解消について

問 どのようにして派閥解消をするのか問う。

(町長)

答 町民総参加のまちをつくりたい思いや町民の利益になるような方向で伊仙町を運営していくという価値観は全ての町民が持っている共通の価値観だと思っている。その中で、どのようなところで意見が食い違っているのかなど、お互いに意見交換しながら、町民の声が町政へ届く環境を整えていきたいと考えている。また、伊仙町の様々な情報を発信するとともに、地域からの情報も積極的に受け止めながら住民の声が反映される町政を目指していきたい。そのため

には、集落座談会や役場職員との会話を通じて、意見を伺い、今後の改善にかしていききたいと考えている。

要望 町民総参加に向けて伊仙町は、難しい問題が山積しているため、派閥解消の実現のために、民主的政治を行っていくよう要望する。

問 利権構造について問う。

(総務課長)

答 本町で、これまで指名競争入札を一定程度行ってきた背景には、施工能力や過去の実績等を考慮し、品質確保と円滑な工事進行を重視した運用が求められてきたためだと考えている。現段階の本町役場組織においては、専門的な人員や、時間・条例等の整備が必要になると考えている。今後、町内業者育成と

り方を考えていきたい。また、専門職の配置については、今後も継続的に募集を行っていききたいと考えている。



問 公共工事等入札関係オープンについて問う。

(総務課長)

答 入札結果等については、建設新聞等で公表されていると認識している。広報誌等への掲載については、他自治体の例も参考にしながら今後、三町で検討していきたいと考えている。

副町長の設置について

問 副町長を設置するのか問う。

(町長)

答 町運営の補佐役として職務遂行能力や経験・専門性や地域性などを有した方が副町長にふさわしいと思っている。総合的に判断して推薦、選任できたら良いのではと考えているが、任命するにあたっては、議会での承認を得る必要があるので議会で認める人材とはどういう人材なのかを含め意見交換を通して提案しなければならぬと考えている。議会で選任されるような人材を期待している。

町長選挙について

問 町民が安心して投票できる投票所だったのか問う。

(選管委員長)

答 安心して投票できたのではないかと考えている。

(選管書記長)

期日前投票所については、1階という意見もあったが、投票される方の安心・安全確保の観点から、天候等にも考慮し4階スペースで十分受け入れられる機能があることから、4階に決まったという経緯がある。これまでの議会委員会議室での投票場所については何ら問題もなかったもので、7月に予定している、参議院選挙、また、年明け予定している町議会議員選挙についても同会場で行う方向で考えている。



期日前投票所



美島 盛秀 議員

伊田正則新町長の所信について

問 建設業協会（約40社）の組織的協力を（支持・支援）と町外業者の支援を受けていることについて問う。

答（町長） 私自身、建設業協会からの支援を受けているという認識はなく、業者個人からの支持や激励等は頂いたが、協会全体として支持を表明したということはないかと思っている。

（総務課長） 徳之島全体の建設業協会というものが存在していることは認識しているが、伊仙町建設業協会というものに関して、名簿等もなく、どのような業者が所属

しているかも知れ把握していない。

問 大久保前町長の後援会を引き継ぎ、後継者を自負していたが、残された負の事案が町民負担になっていることに對し、どのように責任を果たす考えなのか問う。

答（経済課長） まず、堆肥センターの件については、財産調査等を行い、その財産が親族の名義に変更されているといったことが分かってきたので、このまま調停等が締結できるのか、もしくは名義を本人に戻して財産等の差押えによる徴収を行っているのかといったところを、現在、弁護士と協議している。

漁業集落については、知覧簡易裁判所において令和5年4月26日に成立している調停合意に基づき、現在、5月まで順調に返済されているところである。糖業振興会の件については、令和7年1月14日に判

決が言い渡され、2月1日に確定したことを受け、令和7年2月10日付で請求をしている。現在、その請求に基づく支払い等行なわれていないが、被告の一人である方からは、支払い方法の相談があり、現在当方の弁護士と相手方の弁護士と協議を行っている。

（社会教育課長）

多世代交流機能拡張事業に関しても、漁業集落と一緒に調停合意をいただいたところで5月現在まで、調停額と同じ金額を支払っていたいただいている。

（町長） 様々な問題があったことは承知している。内容について詳しくは理解していないが、担当課で処理が進んでいると認識している。

伊仙町選挙管理委員会について

問 伊仙町選挙管理委員会
の執務状況について問う。

（選管書記長）

答 現在の委員長が、委員になったのが、平成21年6月25日から委員として選挙管理委員会に入り、平成24年12月14日から、当時の委員長の死去に伴い、平成24年12月14日から委員長を務めている。また、会計年度の勤務年数について

は、選挙管理委員会にきて15年目になる。

要望

伊田町長の知らないことがあったことを念頭に置いていただき、今後しっかりと町政が続けられるよう要望する。

あなたの声が、地域を変える



町民の皆さまの、ご意見・議会への要望など、お気軽にお聞かせください。



井上 和代 議員

**ほーらい館癒ていなホール
増築・改築について**

問 台風や災害時の避難所として十分な人数の受け入れが、や機能をはたしているのか問う。

答 台風や災害時の避難場所としては、ほーらい館だけの収容人数としては240名、その他に公民館を含め地域防災計画に定められている指定場所及び収容人数は町内で37カ所3340名が収容できるように計画されている。

また、機能については、改修、屋根工事の防水等の工事が予定されている。

(健康増進課長)

ほーらい館は老朽化も著しく、改修、防水対策が必

要である為、今年度改修を予定している。増築等は現在、計画はされていない。台風や災害時の避難場所としてほーらい館や町内37カ所の施設では、不十分と思われるが、災害時には行政だけでなく民間の協力も必要になる。地域力が十二分に機能するよう行政としても取り組んでいきたいと考えている。

問 温暖化の影響により今後癒ていなホールの需要が高まると思うが、対応できるのか問う。

答 温暖化に対する対策等は、非難する場所のみならず、各小中学校等の子どもの達の生活環境、学習環境を整える意味からも総合的にみて必要な部分は、町としても検討、推進している。

(健康増進課長)

温暖化の影響について、昨年度、島内でも先駆けて

熱中症対策のクーリングシェルターとしてほーらい館と役場を指定している。今年度は、中央公民館も指定する予定となっている。

(総務課長)

災害時等の避難場所としての機能を果たす為の避難所改修事業については、令和2年度より順次行っている。今年度も2集落の公民館に対して避難所改修事業を行う予定である。がんばる集落支援事業を活用して各集落の公民館における空調設備等の整備も推進していきたい。



ほーらい館 癒ていなホール

島口の伝承について

問 島口を伝えていく方法はあるのか問う。

(教育長)

答 町内全小中学校それぞれ総合的な学習の時間で、地域に住む方から島口や島唄について話を聞いたり、学習発表会で島口劇を行ったり、特色ある教育活動として島口について学習している状況である。

(社会教育課長)

伊仙町の条例で2月18日を島口の日とし、2月を島口月間と定めている。2月にイベントとして、「しまぐちつこわーデー」を開催し、島口劇や島口漫談などを行い、小中学校の協力で島口川柳コンテストを開催し、イベントの中で最優秀賞者に表彰を行っている。

現在、町史編纂事業の取り組みでデジタルアーカイブ部会において、島口や島のことわざを耳で聞いて、音として馴染むよう自然な形

での音源として保存し、公開するために、現在聞取りと動画の録画を進めている。



島口川柳表彰式



令和6年度しまぐちつこわーデー



杉山 肇 議員

災害対策について

問 5月に発生した大規模火災（阿権地区1棟、伊仙地区4棟）に関し、罹災者への事後対応について問う。

答 伊仙町災害罹災者に対する見舞金支給要綱に基づき迅速・適切に対応を行っている。

(地域福祉課長)

総務課担当より罹災者情報を共有し、見舞金の支給を行っている。支給状況については、全焼対象者のうち、5件のうち、3件支給済みである。2件については、対象者の方の都合により未支給となっているので今後対応していく。また、部分焼、半焼の方々にも今

後連絡を取り、随時支給を行っていく予定である。

要望 一日でも早く支給できるよう訪問をするなど、迅速・適切に努めるよう要望する。

問 緊急時における行政職員の参集体制や災害時に自治体として対応できる限界はどこまであるのか問う。

答 自治体は、地域住民の生命・財産を守るために防災計画の策定や避難所の設置・運営・緊急情報伝達など、多岐に渡る対応を行っている。これらは、地方自治法や災害対策基本法に基づき地域の特性や過去の経験を踏まえて計画的に進めている。また、消防・警察など関係機関と連携しながら多層的な支援体制を整備しているところである。

(総務課長)

災害時の対応には、物理的・人的資源や時間的制約が伴うものであり、災害発

生時には、多くの住民から救助要請が集中する可能性もあり、町職員だけでは対応が困難となる状況も想定される。さらに、自然災害は予測不可能な側面も持ち合わせており、その規模や発生場所によって自治体単独で対応できる範囲は明確に限定されるので、限界を正しく認識し、それに基づいた事前準備と地域住民への啓発活動を推進することが重要であると考えている。その中でもいかに早期発見・早期警戒、住民自身による避難行動、地域全体で支え合う仕組みの構築こそが最も重要であり、そのためにも引き続き関係機関と連携した防災力強化策を推進していきたいと考えている。



子どもの教育格差是正について

問 家庭の経済状況に左右されない教育機会の平等は確保されているのか問う。

答 現在、教育委員会では、実施している助成事業では、要保護及び準要保護の対象者へ学用品の支給。また、各種検定料の無償化や給食費の無償化を行っている。中学校卒業後には、高校へ通学するためのバスの代金の全額補助を実施している。これらの助成を行いな

(教育長)

ながらICT機器の整備・デジタル教科書の導入、自らが主体的に学びを進めることができる学習支援ソフトの導入など各家庭の経済状況に左右されないよう全ての児童・生徒が安心して学べる環境づくりに取り組んでいる。

(社会教育課長)

生によるインターネットを介した遠隔双方向ライブ授業を無料で行っている。今年度は4月からスタートしており、毎週日曜日開校している。長期休暇中は、夏期講習、冬期講習を実施する予定である。

問 児童生徒を対象に、校外での学習塾や様々な習い事に対する支援等がないか問う。

答 現在、伊仙町においては実施していない状況である。全国の事例として、自治体独自の取組みとして費用助成を行っている自治体がある。民間の学習塾や習い事に対する費用助成については、取組む自治体の自主財源によって運営がなされていると思うので、課題となる財源の確保を含めて、今後検討が必要であると考えている。

要望 伊仙町独自の主体性を持った教育行政を展開されることを要望する。



牧本 和英 議員

先般執行された伊仙町長選挙について

問 告示前日にいだ正則後援会がポスティングされたピラについて問う。

答 (町長) ピラについては、後援会が作成し一部の地域において配布を行ったことは確認している。内容については、配布する間近に目を通した。後援会独自で進めた内容であるが、表現の在り方について町民の皆様

に不愉快な思いをさせたことがあったとしたら率直にお詫びを申し上げたい。政治的な意見の違いや立場の違いによっていろいろな表現をすることは法律で認められており民主主義の社会においては、当然の声だと

思っているが、表現の仕方については、後援会を含め私自身も冷静に客観的に判断できるような言動に気をつけていかなければならないと思っている。

要望 反対した意見などについて、反対議員に率直に聞いたり、疑問点や誤解がないか確認が場合によっては必要ではないかと思うので、派閥解消は、町長としてのリーダーシップを発揮する重要な課題である。議員や職員との対話、また、政策等の透明性が必要だと思うので、議論する中で、誤解などが生まれないように、オープンな対話をして、派閥解消に向け信頼関係を築いていくことを要望する。

伊仙町シルバー人材センターについて

問 5月末に解散されているが、今後について問う。

(地域福祉課長)

答 一般社団法人伊仙町シルバー人材センター

で運営をしてきたが、人口減少や社会的情勢、会員の高齢化、新規会員の減少により運営が厳しく、令和7年5月31日をもって解散することになったという報告を受けている。年々高齢化が進む中で、高齢者雇用についての対策は必要不可欠なので対応を考えていきたいと思っている。また、会員だけでなく利用者についても、シルバー人材センターがなくなったことにより困っている方がいると思われるので、登録されていた会員、また利用者等の情報も確認し、会員及び利用者に対してどのような対策ができるのかなど、伊仙町に合った対応ができるよう今後検討していきたいと考えている。

要望 前向きに検討していただき、早急な対応を要望する。

議会を傍聴してみませんか

令和7年第3回定例会は、9月9日(火)～9月19日(金)を予定しております。

また、令和7年第4回定例会は、12月9日(火)からを予定しております。

ネット配信も行っておりますが、ぜひ、生の議会を傍聴してみませんか。

手続きは簡単で、議会の当日に傍聴席入口の受付表に、住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

電話番号 86-3150 (直通)



子ども議会が開催されました!!



子ども議長

本町では、次世代を担う子どもたちが、町民の一員としての自覚を持ち、まちづくりについて考え、意見を発表する体験を通して、町で生きていく自分の未来についての考えを深め自己実現を図ろうとする態度を養うことを目的として町教育委員会主催で2年に1回、子ども議会を開催しております。



子ども議長

日 時：令和7年8月20日(水)

参加者：子ども議員(町内小学校8校・中学校3校の代表)、町長、教育長ほか執行部

内 容：各小中学校の代表者による質問があり、伊仙町の将来を考えたまちづくりの提案など活発な意見がでました。



第66回 奄美群島市町村議会議員大会【ご報告】

5月19日～5月21日の日程で、第66回奄美群島市町村議会議員大会が、本町において14年ぶりに盛大に開催されました。

○19日は、伊仙町連合青年団主催で、なくさみ館において、「奄美群島市町村議会議員大会開催記念闘牛大会」が行われ、あいにくのお天気ではありましたが、勇壮な闘牛の激を間近でご観戦いただき、徳之島伊仙町らしい熱気あふれるひと時をお楽しみいただけたことと思います。



オープニングセレモニー ～黒潮太鼓～



歓迎のぼり旗



ファイナルマッチの
白熱した闘い

○20日、議員大会当日は、伊仙町総合体育館において、郡内12市町村から議会議員、群島選出県議会議員や各市町村長等、196名が出席されました。大会の中で、会長あいさつ、自治功労者表彰(議員4名、職員1名)、歓迎あいさつ、来賓祝辞、国政報告、県政報告が行われた後、議事に入り、議長会や各地区から提出された6議題の提案事項説明が行われ、全会一致で採択されました。



会長あいさつ 前議長



自治功労者表彰



歓迎あいさつ 伊田町長



祝辞を述べる 塩田知事



祝辞を述べる 高岡大島郡町村会長



リモートにて国政報告 三反園衆議院議員



県政報告 禧久県議



県政報告 福司山県議



提案理由説明のようす

【提出された議題】

- ① 亀徳港における耐震強化岸壁整備について（徳之島町・天城町・伊仙町）
- ② 持続可能な部活動地域展開等について（和泊町・知名町・与論町）
- ③ 国道58号線（奄美市住用役勝～網野子トンネル起点間、勝浦～阿木名間のトンネル化）の改良促進について（大和村・宇検村・瀬戸内町）
- ④ 離島地域における物価高及び燃油価格差の是正について（奄美市）
- ⑤ 東海岸バイパスルート（龍郷町～奄美市～瀬戸内町）の整備について（龍郷町・喜界町）
- ⑥ 奄美地域における持続可能な地域医療の確立について（議長会）

○大会終了後には、ほーらい館 癒ていなホールにおいて、星 明彦氏による「奄美群島の挑戦～自然・文化・農業を活かした新しい価値創造と未来への道筋～」と題して議員研修会が行われました。その後、伊仙町総合体育館に移し、全体懇親会が盛大に開催され、フィナーレでは、「ワイド節・六調」で会場は盛り上がり、終始和やかな雰囲気の中、懇親会も盛会のうちに終了いたしました。



星氏による議員研修会



オープニング
西伊仙東集落【棒踊り】



懇親会余興
東犬田布育成会【イッサンサン】



フィナーレのようす

○21日最終日は、希望市町村の皆様が伊仙町行政視察を行いました。視察箇所は、①犬田布岬（戦艦大和を旗艦とする特攻戦隊戦没将士慰霊塔ガバメントクラウドファンディングの取り組みについて）②AGF第2圃場（徳之島コーヒー栽培の取り組みについて）③長寿子宝社（一般社団法人「長寿子宝社」の設立経緯と取り組みについて）の3カ所で行いました。



伊仙町行政視察



このたび、議員大会が無事に盛会のうちに終了いたしましたことは、ひとえに町民の皆様をはじめ、関係各団体の皆様のご祈会とご協力の賜と心より感謝申し上げます。今後とも、本町行政並びに本議会に対しまして、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、議員大会終了のご報告とさせていただきます。

議会の動き

令和7年第2回伊仙町議会定例会における諸般の報告（議長の動静）
 動静期間：令和7年第1回定例会（3月16日）以降の分

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

月	日	行事名	場所	月	日	行事名	場所
3月	24日	小学校卒業式	町内	5月	19日	議員大会in伊仙町開催記念闘牛大会	なくさみ館
4月	5日	第12回徳之島祭り	尼崎市		20日	第66回奄美群島市町村議会議員大会	総合体育館
	7日	小学校入学式	町内		21日	議員大会に伴う町内行政視察	町内
	8日	第58回 戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭	犬布布岬		25日	「奄美×尼崎AMAフレンドシップ事業開始記念セレモニー」懇親会	奄美市
	10日	議会議長・事務局長合同会	奄美市		26日	令和7年度各種協議会総会	奄美市
	17日	議会全員協議会	議会委員会室		27日	議長・副議長研修会	東京都
	23日	令和7年度徳之島地域農業総合対策推進協議会総会	ほーらい館		30日	令和7年度県市町村連携会議（リモート会議）	大会議室
	29日	海開き	瀬田海浜公園		30日	徳之島建設業協会懇親会	徳之島町
5月	13日	議員研修会	鹿児島市		6月	6日	議会運営委員会（第2回定例会議事日程等）
	16日	令和7年度伊仙町商工会通常総会	中央公民館	9日		全員協議会	委員会室

伊仙町公式LINE友だち募集中!!

最新情報を、いち早くお届け!

伊仙町公式LINEでは、イベント情報や防災無線、行政情報や暮らしに関する情報、災害情報等を配信しています。ぜひ、伊仙町公式LINEの友だち登録をお願いします。



▲登録はこちらから

《追加方法》

下記のいずれかの方法で登録することができます。

- ①LINEでQRコードを読み取り登録
- ②LINEでID検索【@isen_city】して登録

ご登録お待ちしております!

楽しい&役立つ情報もりだくさん!
 ぜひ、この機会に「お友達登録」をお願いします!

編集後記

残暑厳しき折、町民の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。
 今年の残暑は本当に厳しいと感じている方も多いのではないのでしょうか。暦の上では、8月7日頃からは立秋を迎えましたが、まだまだ暑い日々が続いております。

全国的な猛暑が話題となり、海面上昇や線状降水帯の多発、干ばつによる農作物の収穫量減少等、地球温暖化による影響は、既に私達の身近な問題となっており、私たち一人ひとりが問題意識を持って行動することが求められています。まずは、日常生活の中で出来ることから始めましょう。例えば、節電、節水、マイバックやマイボトルの活用、グリーンカーテンの設置、ごみの分別の徹底、コンポスト等の利用などがあります。また、リサイクルの推進も重要です。資源ごみの回収や分別の徹底、生ごみの堆肥化を進めることは、環境教育の観点からも、非常に大切です。

現在、徳之島愛ランドクリーンセンターでの資源ごみとして、ペットボトル類は、ラベルをはがし、キャップを外した上で、透明なごみ袋に入れて出すことができます。透明な袋は、ペットボトルの分別の徹底が一目瞭然です。資源ごみは、分別の徹底がとて重要で資源としての価値を左右します。

地球温暖化対策の一環として小さな取り組みの積み重ねが、未来の地球を守る一歩になります。「わたしに今できること」から一緒に始めていきましょう。

文責 井上 和代

議会広報編集委員会

発行責任者 議長 前 徹志

委員長 大河 善市

副委員長 井上 和代

委員 永田 誠

委員 清田 平二

委員 杉山 肇

